

基本理念 基本方針	基本目標	後期期間の方向	施策課題	施策の展開	具体的な取り組み
地産地消ですすめる持続可能な農業・農村づくり	Ⅰ 産地や地域を支える担い手の育成	今後は「担い手」と「支え手」の両輪から多様な人材・組織の確保・育成に取り組めます。	1. 廿日市市の農業をリードする経営力の高い担い手の育成	(1)認定農業者等の多様なニーズに応じた確保・育成に向けた支援	
		(農業の担い手)		①認定農業者の育成と成長促進 ②スマート農業の導入支援 ③地域の核となる経営体の次世代への承継 ④新たな担い手の確保・育成	★ 経営管理、資金確保、農地確保、営農ノウハウの習得、販路の開拓等の支援 ドローンやセンサー、AI等のICT技術の導入支援 ★ 次世代を担う人材の育成と承継に向けた支援 農業求人マッチングアプリ、バイトアプリ等の活用
		◆認定農業者や農業法人等の多様な担い手の確保・育成 ◆新規就農者とともに親元就農の促進 ◆農業法人等の次世代承継の推進 ◆スマート農業の導入促進		(2)新規就農者や農業後継者の確保・育成に向けた支援	
		(農業の支え手)		①はつかいち版新規就農プラットフォームの構築 ②農業後継者の確保・育成 ③第三者承継のサポート ④JAひろしま等との連携による就農支援 ⑤兼業農家の確保	★ 新規就農者の相談窓口の統一化及び周知 ★ 親元就農者の新たなチャレンジの支援 既存農家と新規就農希望者等とのマッチング支援 研修用ハウス等の充実 環境負荷の低い農業の担い手育成 ライフスタイルを重視する農家の確保
	Ⅱ 交流・連携を通じた農業の潜在力の発揮	◆スマート農業の導入促進	2. 地域を支える多様な担い手の育成	(1)営農組織の強化・再編による持続可能な水田農業	
		◆農業を支える農作業代行サービス事業者の確保・育成 ◆若者・女性・外国人材の雇用育成支援		①持続可能な水田農業の実現 ②農地集約の促進 ③水田農業の担い手確保 ④共同利用の推進	将来像(営農体制や農地管理等)の共有と合意形成支援 ★ 生産性が高い農地の整備 認定農業者や農業法人等との連携促進 ★ 働き手や機械設備、資材購入、出荷作業、農地管理等の共同化の推進
		(農業の支え手)		(2)営農支援や農地活用に取り組む新たな農業者の確保・育成	
		◆若者・女性・外国人材の雇用育成支援		①農業支援サービス事業体の強化及び育成 ②農作業の担い手確保 ③農福連携の推進及び農学連携への支援	★ 草刈りや防除、田植え、稲刈り、収穫等の外部委託化の促進 多様な働き方を実現できる仕組みづくり 福祉事業者との農福連携の推進、教育機関との農学連携への支援
	Ⅲ 農地、農業用施設等の維持・継承	今後は「地産地消」「加工・販売」「体験・交流」の連携を図りながら、地域特性を活かした付加価値の高い農業に取り組めます。	1. 立地を活かした販売力の強化	(1)生産者と実需者がつながる地元農産物の中間流通の仕組みの構築	
		◆生産者と実需者がつながる中間流通の仕組みづくり ◆地元農産物を活かした6次産業化の推進 ◆体験交流が楽しめる農業の推進 ◆持続可能な生産に向けた生産資材コストの削減や収益性向上への支援	2. 産業関連による新たな価値と経済循環の創出	①地元農産物の中間流通プラットフォームの構築 ②多様な直売所の開設と供給拡大 ③学校給食への市内産農産物の供給拡大と食育の推進	★ 地元農産物の中間流通を担う事業者の確保・育成 消費者との交流による認知度の向上 生産者による食農教育の推進
		◆持続可能な生産に向けた生産資材コストの削減や収益性向上への支援	3. 農業・農村資源を活かした交流促進	(1)6次産業化・ブランド化の推進による儲かる農業の推進・食品ロスの削減	
		◆持続可能な生産に向けた生産資材コストの削減や収益性向上への支援	3. 農業・農村資源を活かした交流促進	①6次産業化・ブランド化の推進 ②生産者と実需者のマッチング支援 ③環境保全型農業に関する取組等の充実	付加価値の高いブランド創出の支援 製造業、量販店、飲食店、福祉施設、学校等の情報交換やマッチング支援 ★ 有機農業技術が習得できる場の活用
	Ⅲ 農地、農業用施設等の維持・継承	今後は「農地集約」と「農村運営」を軸に、「テクノロジーによる適正管理や課題解決」に取り組み、農地と農業用施設の維持継承に取り組めます。	1. 農地・農業用施設等の維持	(1)体験交流型農業の推進による農と食への共感づくり	
		◆農地の集約化による効率的な農業経営の基盤づくり ◆農業インフラの適正管理、更新投資 ◆有害鳥獣対策の強化 ◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	2. 農業生産基盤等の整備	①観光農園を活かした交流促進 ②市民農園事業を活かした交流促進 ③情報発信やプロモーションの展開	観光関連事業者との連携による集客強化 ★ 市民農園の開設及び運営支援 観光支援機関等との連携によるプロモーション
		◆農地の集約化による効率的な農業経営の基盤づくり ◆農業インフラの適正管理、更新投資 ◆有害鳥獣対策の強化 ◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	1. 農地・農業用施設等の維持	(1)農地、農業用施設等の維持	
		◆農地の集約化による効率的な農業経営の基盤づくり ◆農業インフラの適正管理、更新投資 ◆有害鳥獣対策の強化 ◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	2. 農業生産基盤等の整備	①集落共同の取組の啓発・支援 ②多面的機能の維持・発展	集落単位で行う農業用施設維持活動の支援 ★ 農地、農業用施設の良い維持、保全
	Ⅲ 農地、農業用施設等の維持・継承	◆有害鳥獣対策の強化 ◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	1. 農地・農業用施設等の維持	(2)有害鳥獣対策の推進と捕獲鳥獣の資源化の検討	
		◆有害鳥獣対策の強化 ◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	2. 農業生産基盤等の整備	①多角的な有害鳥獣対策 ②捕獲鳥獣の資源化の推進	ICTを導入した効率的かつ安全な捕獲作業 ★ 捕獲鳥獣の加工及び商品開発の検討
		◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	1. 農地・農業用施設等の維持	(1)農業用施設等の適正管理と農地の維持継承	
		◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	2. 農業生産基盤等の整備	①土地基盤等の整備 ②農業用施設の維持・改修・保全 ③農地の集約化と維持継承の促進	簡易なほ場整備、土地改良の実施 ★ 佐伯地域の中央水路や永原頭首工などの整備 農地集約に向けた働きかけ
	Ⅲ 農地、農業用施設等の維持・継承	◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	1. 農地・農業用施設等の維持	(2)地域計画の推進による持続可能な農村コミュニティづくり	
		◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	2. 農業生産基盤等の整備	①耕作放棄地の活用支援 ②地域計画のブラッシュアップ促進 ③農村RMOの立ち上げ及び運営支援	耕作放棄地を活用した農業体験の実施等の支援 ★ 地域計画の見直し及び更新支援 ★ 農村RMO(農村型地域運営組織)の形成支援
		◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	1. 農地・農業用施設等の維持	(2)地域計画の推進による持続可能な農村コミュニティづくり	
		◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現	2. 農業生産基盤等の整備	①耕作放棄地の活用支援 ②地域計画のブラッシュアップ促進 ③農村RMOの立ち上げ及び運営支援	耕作放棄地を活用した農業体験の実施等の支援 ★ 地域計画の見直し及び更新支援 ★ 農村RMO(農村型地域運営組織)の形成支援